

第3期 平成27年度～平成31年度

雲南市地域福祉活動計画



市民誰もが自分らしく輝き
支え合う福祉のふるさとづくり



社会福祉法人雲南市社会福祉協議会

◆ はじめに

私たち一人ひとりが主役の 福祉のふるさとづくり

このたび、平成 27 年度から平成 31 年度までの福祉のふるさとづくりの方向性を示す、第 3 期雲南市地域福祉活動計画を策定しました。

この計画は、「地域住民」「福祉事業者」「福祉活動者」「行政」の代表の皆様と社会福祉協議会による地域福祉活動計画策定委員会を組織し、8 回の検討部会と 5 回の策定委員会を経て策定されました。

今回の計画策定では、喫緊の福祉課題である「地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた取り組み」のあり方について、市内外の関係支援機関で組織した社協・生活支援活動推進検討委員会でご審議いただいた答申（平成 26 年 12 月）を反映することができました。

また、平成 26 年度末までの第 2 期計画の活動実践の中で、地域住民、地域自主組織、ボランティア活動実践者、当事者組織等の皆様からお聞かせいただいた様々な「現場の声」も、それぞれの実施計画に反映することができました。

地域福祉活動を担う様々な皆様の思いを結集したこの計画で、雲南市に暮らす誰もが「この地域で安心して暮らし続けたい」の願いを支えていくために、私たち一人ひとりが主役となり、思いを一つに役割を担い合い、地域に「支える喜び」と「支えられる喜び」を生み出していきましょう。そして、この二つの喜びを、この活動に関わるみんなで分かち合い、地域にその輪を広げながら大切に育てていきましょう。

こうした取り組みが、この計画の基本理念「市民誰もが自分らしく輝き 支え合う福祉のふるさとづくり」の実現につながっていくものと確信しています。

今後とも、どうか市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、計画の策定にあたり、ご尽力をいただいた策定委員の皆様、貴重なご意見やご提言をいただきましたたくさんの皆様に心から感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

社会福祉法人雲南市社会福祉協議会
会 長 山 本 重 明

◆ 計画策定にあたって

地域福祉とは何か。

それは、「誰もが地域で、その人らしく安心して生活ができるようにすることを目指すこと」であるとされています。

簡素な表現ですが、ここにはわが国の福祉が歩んできた歴史が刻まれ、それに関わってきた人々の深い願いが込められているそうです。

私たちが暮らす雲南市では、今も人口減少と高齢化が進んでいます。高齢者の方からは、地域での暮らしに負担を感じるようになったという声も聞かれます。

また、人々の暮らしに影響を及ぼす経済や雇用の情勢が厳しい中で、地域では深刻な生活課題を抱え生活に困窮する方も増えつつあります。

今回策定した第3期雲南市地域福祉活動計画では、このような地域での生活のしづらさや深刻化する生活課題にしっかりと向き合い、冒頭の地域福祉が示す「誰もが」の実現に必要な取り組みを定めました。

この計画は、地域住民、福祉関係者の皆様、そして行政、社会福祉協議会が、基本理念で掲げる目標を共有し、その達成に向けてそれぞれならではの“強み”を活かし合い、思いを一つに地域福祉を実践していくための行動計画でもあります。

この計画が活用されることで、地域福祉の実現に向けた個々の思いがつながり合い、その輪が広がり、やがて大きな力となっていくことを願っております。

最後になりましたが、この計画の策定にあたりご尽力を賜りました策定委員会の皆様をはじめ、貴重なご意見と的確なご指導をいただきました多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

雲南市地域福祉活動計画策定委員会
委員長 朝日照男

目次

○ 序文：はじめに／計画策定にあたって

第1章 計画の概要

I	計画策定の趣旨	1
II	計画の性格	2
1	計画の性格	2
2	他計画との調和	2
III	計画の期間	3
IV	計画の策定体制	3
1	地域福祉活動計画策定委員会	3
2	地域福祉活動計画策定委員会検討部会	3
V	計画策定への地域住民や関係機関・団体等の声の反映	3
1	地域福祉委員会	3
2	ボランティアセンター運営委員会	3
3	社協・生活支援活動推進検討委員会	4
4	小地域福祉活動支援会議	4
5	その他	4

第2章 雲南市の概況

I	雲南市の人口と世帯数の概況	5
1	年齢階層別の人口の推移	5
2	世帯数の推移	5
3	単身世帯数の推移	6
4	高齢者だけで構成する世帯数の推移	6
II	雲南市の福祉の概況	7
1	高齢者	7
2	障がいのある人	7
3	子ども	8
4	生活困窮者	8
III	人口と世帯の概況から考えられる課題	9
1	年齢階層別の人口の推移から	9
2	世帯数の推移から	9
3	単身世帯数の推移から	9
4	高齢者だけで構成する世帯数の推移から	9
IV	福祉の概況から考えられる課題	9
1	高齢者	9
2	障がいのある人	9
3	子ども	10
4	生活困窮者	10

第3章 第2期計画の検証

I 第2期計画の検証	12
○ 基本目標1：市民と共に目指す安心して暮らし続けられる地域づくり	
実施計画1：福祉教育の推進	13
実施計画2：小地域福祉活動の振興	15
実施計画3：ボランティア活動の振興	17
実施計画4：住民参加による生活支援事業の推進	19
○ 基本目標2：地域で自分らしく安心して暮らし続けられる生活支援体制づくり	
実施計画1：相談体制の整備	21
実施計画2：自立生活支援制度の活用	23
実施計画3：権利擁護体制の充実	25
実施計画4：当事者組織等の支援	27

第4章 計画の理念と目標

I 地域福祉の考え方	28
1 地域福祉の位置づけ	28
2 地域福祉の目的と推進主体	28
II 活動実践のポイントと意義・役割	30
1 活動実践のポイント	30
2 活動の意義・役割	30
III 活動を実践していく圏域	32
1 圏域の設定	32
IV 基本理念	33
1 基本理念	33
2 基本理念の趣旨	33
V 基本目標	34
1 基本目標	34
2 2つの基本目標とその実践領域	34

第5章 計画の内容（実施計画）

I 施策体系図	37
II 基本目標1	38
実施計画1：総合相談支援体制の構築	39
実施計画2：自立生活支援体制の構築	42
実施計画3：権利擁護体制の構築	45
実施計画4：社会的包摂の実現	48
III 基本目標2	51
実施計画1：福祉教育の推進	52
実施計画2：小地域福祉活動の推進	55
実施計画3：ボランティア活動の推進	59
実施計画4：当事者組織活動の推進	62

IV 地域福祉の実現に向けて ～2つの基本目標の総合的・包括的な実践～	65
1 地域福祉の実現 = くらしをまもる + つながりをつくる	65

第6章 地域福祉の推進のために

I 推進主体の役割	67
1 地域住民の役割	67
2 地域自主組織の役割	67
3 ボランティア組織の役割	67
4 当事者組織の役割	68
5 社会福祉法人の役割	68
6 社会福祉協議会の役割	68
7 民生委員・児童委員の役割	68
8 行政の役割	68
II 推進財源の確保と活用	70
1 公的財源	70
2 民間財源	71
○ 社会福祉協議会が福祉活動計画を推進していくための財源	73

第7章 計画の進行管理

I 計画の推進と進行管理	74
1 計画の推進	74
2 計画の進行管理	74
II 計画の評価	74
1 評価のための目標設定の考え方	74
2 プロジェクトチームによる目標共有と事業実施・事業評価	74
3 実施事業の評価	75

第8章 資料編

I 計画策定委員会	76
II 計画策定の経過	78

用語解説

用語解説	80
------	----